

新型コロナウイルス 予防接種に3606万円

経済的な配慮を要する世帯に対し 暖房費用の一部支援に887万円

**第4回定例会
議案審議**

第4回定例会は11月30日から12月14日までの会期で開かれ、一般質問には13名が登壇した。条例の一部改正や補正予算などの議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

条例改正

- ◆特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

県人事委員会勧告及び県の特別職の期末手当引下げ等を踏まえ、期末手当の年間支給月数を0・05月（一般職の職員は0・1月）引き下げ、令和3年12月から適用する。

◆町国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の見直しに伴う健康保険法施行令の改正に合わせ、国民健康保険における出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に改正する。

協定変更

◆上田地域定住自立圏形成に関する協定の変更

4年度からスタートする次期共生ビジョンにおいて、脱炭素社会の実現

原油価格高騰等 緊急対策助成金

昨今の原油価格高騰の影響による経済的負担の軽減を図るため、冬期間の暖房に要する費用を助成。1世帯あたり5,000円を支給。（対象：令和3年度、世帯全員の市町村民税が非課税の世帯で一定の要件に該当する世帯）



補正予算の主な内容 第4回定例会（12月）

◆一般会計補正予算（第6号）	補正額 ▲504万円
歳出の主な内容	
議員報酬	▲23万円
特別職期末手当	▲14万円
一般職期末手当	▲595万円
一般職勤勉手当	206万円
◆一般会計補正予算（第7号）	補正額 1億2,936万円
歳入の主な内容	
国庫支出金	1億3,487万円
寄附金	4,005万円
基金繰入金	▲2,450万円
歳出の主な内容	
温泉施設持続化負担金	2,100万円
ふるさとまちづくり基金積立金	4,000万円
ふるさと納税事業に係る経費	1,790万円
障害児通所等給付費	1,300万円
新型コロナウイルス予防接種に係る経費	3,606万円
町道及び林道の除雪作業に要する費用	1,250万円
湯さん館施設等基金積立金	4,000万円
小中学校空調設備整備工事	▲8,143万円
◆一般会計補正予算（第8号）	補正額 1億 528万円
歳入の内容	
国庫支出金	1億 110万円
基金繰入金	418万円
歳出の主な内容	
子育て世帯等臨時特別給付（先行給付金）支給事業	1億 110万円
原油価格高騰等緊急対策事業	387万円

一般会計補正予算 （第7号）

やワーケーション・テレワークの推進、スマート社会の実現、防災力強化といった新たな視点を加え連携し事業展開を行うため、協定の変更を行う。

問 (株)坂城町振興公社への持続化負担金2100万円の算出根拠と経費の状況は。

答 びんぐし湯さん館の3年度上半期と元年度上半期の売上額を比較し、

売上の減少額4200万円の2分の1とした。

元年度と比較すると入館者は大きく減少し売上が減少しているが、風呂や空調等の維持経費を大きく減少させることは難しい。販売費及び一般管理費等で比較すると2年度と元年度の比較では約4%減の状況である。電

気契約の見直しなどのコスト削減にも取り組んでいる。

問 新型コロナウイルスワクチン3回目の接種における職員体制は。

答 これまでと同様、集団接種や施設の巡回接種、個別接種で行うことを想定している。集団接種では、接種を行う看護師及び接種済証を発行する医療機関所属の事務員を除き、概ね町職員6、7人、会計年度任用職員の事務員、看護師で7、8人程度で体制を組んでいく予定である。

問 コールセンター等委託料の内容は。

答 接種予約・相談に応じるコールセンターや集団接種会場までご自分で来場することが困難な方に対するタクシー送迎などに係る委託経費を見込んでいる。

第4回定例会(12月)の審議結果

1 賛否が分かれた議案……なし

2 全会一致で可決された議案

(1) 条例等

- ① 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ② 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ③ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ④ 上田地域定住自立圏形成に関する協定の変更
- ⑤ 町国民健康保険条例の一部改正

(2) 令和3年度補正予算

- ① 一般会計(第6号)
- ② 一般会計(第7号)
- ③ 一般会計(第8号)
- ④ 下水道事業特別会計(第2号)
- ⑤ 下水道事業特別会計(第3号)

(3) その他

- ① 町道路線の認定について
- ② 町道路線の変更について

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

件名	提出者	付託常任委員会	審査結果
和平地区の道路整備に関する陳情書	滝沢弘幸	総務産業	趣旨採択

電子採決システムによる採決を導入しました

12月定例会から議会のICT化の一環として、電子採決システム(写真左)による採決がスタートしました。これにより、議員の賛否状況の把握が容易になるほか、議場内モニター(写真右)に採決の結果が表示されることで、傍聴者のみなさんにも賛否状況を分かりやすく伝えることができるようになりました。

